

2020年度後期 講義概要

| | |
|--------|---|
| 授業科目名 | 中国語IIa |
| 主担当教員名 | 山本明志 |
| 配当学年 等 | 医学科1年 |
| 学習目標 | I、IIの履修を通して中国語の正しい発音を身につけ、基本的な文法を理解した上で、簡単な事柄を中国語で表現できることを目標とする。 |
| 授業概要 | 中国語IIaは、Iaの授業で身につけた基礎力を、さらに発展させる授業である。初級レベルで身につけるべき文法の習得を目標とし、初級中国語の読解力・作文力の完成を目指す。 |

授業内容

| 年月日(曜) | 時限 | 担当教員 | 項目 | 内容 | 課題有・無 | 授業形式(原則、対面。) |
|---------------|-----|------|------------|-------------------------------|-------|--------------|
| 令和2年10月12日(月) | 1時限 | 山本明志 | ガイダンス・助動詞I | 授業の進め方を説明し、助動詞「想」「要」の用法などを学ぶ | 有 | 対面 |
| 令和2年10月19日(月) | 1時限 | 山本明志 | テキスト第八課本文 | テキスト第八課の本文を読解し、練習問題を理解する | 無 | 対面 |
| 令和2年10月26日(月) | 1時限 | 山本明志 | 時間表現 | 時・時の量を表す表現方法について学ぶ | 有 | 対面 |
| 令和2年11月02日(月) | 1時限 | 山本明志 | テキスト第九課本文 | テキスト第九課の本文を読解し、練習問題を理解する | 無 | 対面 |
| 令和2年11月09日(月) | 1時限 | 山本明志 | 完了・経験の表現 | 完了・経験を表す助詞の用法・結果補語などについて学ぶ | 有 | 対面 |
| 令和2年11月16日(月) | 1時限 | 山本明志 | テキスト第十課本文 | テキスト第十課の本文を読解し、練習問題を理解する | 無 | 対面 |
| 令和2年11月25日(水) | 1時限 | 山本明志 | 是的構文・状態補語 | 是～的」構文、状態補語などについて学ぶ | 有 | 対面 |
| 令和2年11月30日(月) | 1時限 | 山本明志 | テキスト第十一課本文 | テキスト第十一課の本文を読解し、練習問題を理解する | 無 | 対面 |
| 令和2年12月07日(月) | 1時限 | 山本明志 | 可能の助動詞 | 会・能・可以」の三つの助動詞の用法について学ぶ | 有 | 対面 |
| 令和2年12月21日(月) | 1時限 | 山本明志 | テキスト第十二課本文 | テキスト第十二課の本文を読解し、練習問題を理解する | 無 | 対面 |
| 令和3年01月04日(月) | 1時限 | 山本明志 | 将然・持続の表現 | 近い未来の変化の推測、持続の表現方法などについて学ぶ | 有 | 対面 |
| 令和3年01月14日(木) | 1時限 | 山本明志 | テキスト第十三課 | 方向補語などについて学び、テキスト第十三課の本文を読解する | 無 | 対面 |
| 令和3年01月18日(月) | 1時限 | 山本明志 | 可能補語 | 可能補語、「ちょっと～する」の表現について学ぶ | 無 | 対面 |
| 令和3年01月25日(月) | 1時限 | 山本明志 | テキスト第十四課 | テキスト第十四課の本文を読解し、受動文・使役文などを学ぶ | 無 | 対面 |
| 令和3年02月01日(月) | 1時限 | 山本明志 | テキスト第十五課 | 「把構文」を学び、テキスト第十五課の本文を読解する | 無 | 対面 |

| | |
|-------------------|--|
| 授業形式・ 視聴覚機器の利用 | 板書を中心とする講義形式の授業です。ネイティブスピーカーの発音をCDで聞きます。 |
| 評価方法 | <p>①全回出席を前提とする。出席は加点の対象とせず、正当な理由（忌引き、病欠、交通機関の遅延など）がない場合の欠席は減点の対象とする。かつ正当な理由のない欠席が授業回数の三分の一を超える場合は、期末試験の受験資格を与えず、単位の認定もしない。</p> <p>②期末試験の成績が100点満点換算で60点を下回った場合は、出席率の良し悪しに関わらず、単位を認定しない。</p> <p>以上の原則のもと、評価のうち期末試験の成績は70%を占め、毎回の小テストと平常点はあわせて30%を占める。</p> <p>以上が、初修外国語の単位認定の共通ルールに基づく評価方法です。ただし、新型コロナウイルス感染予防のため登学できない場合などはもちろん考慮しますし、社会情勢の変化に応じて、上記の原則が変更となることもあります。その場合は、できるだけ早くにお知らせします。</p> |
| 教科書・ 参考文献 | 李志華ほか：著『同窓友情 共に学ぶ中国語 文法』白帝社 |
| 学生への メッセージ | 発音練習がどこまでできるかわかりませんが、「初級中国語文法」として知っておくべき内容は全て解説します。最後まで頑張りましょう！ |